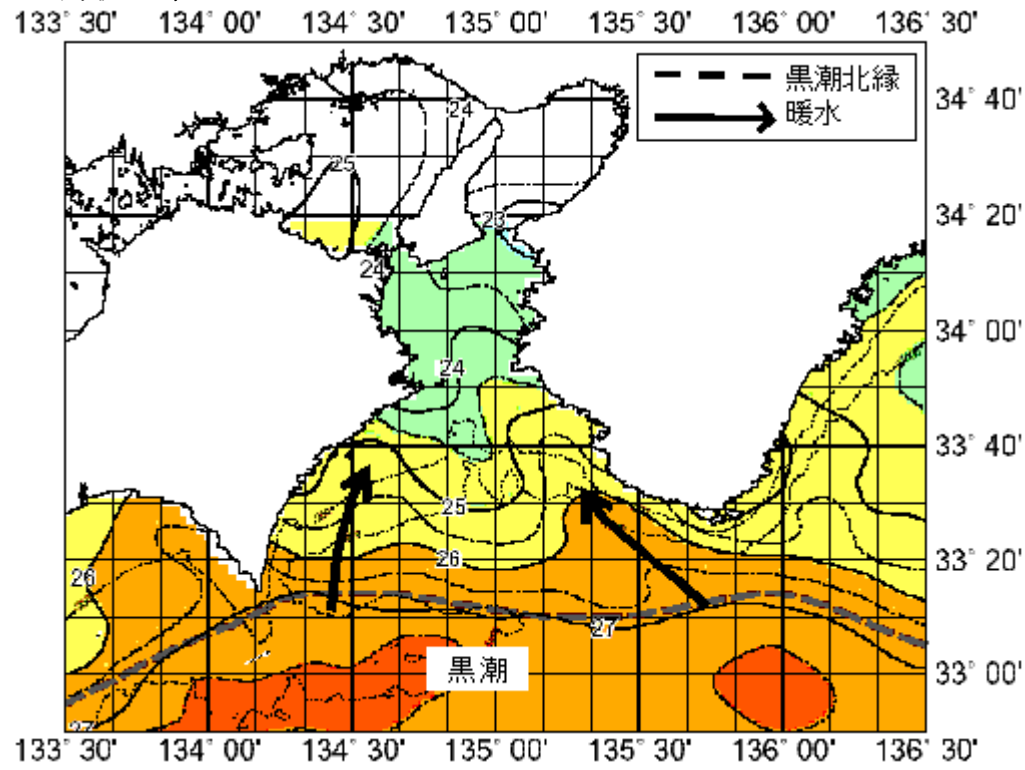


1. 海況の経過



海況

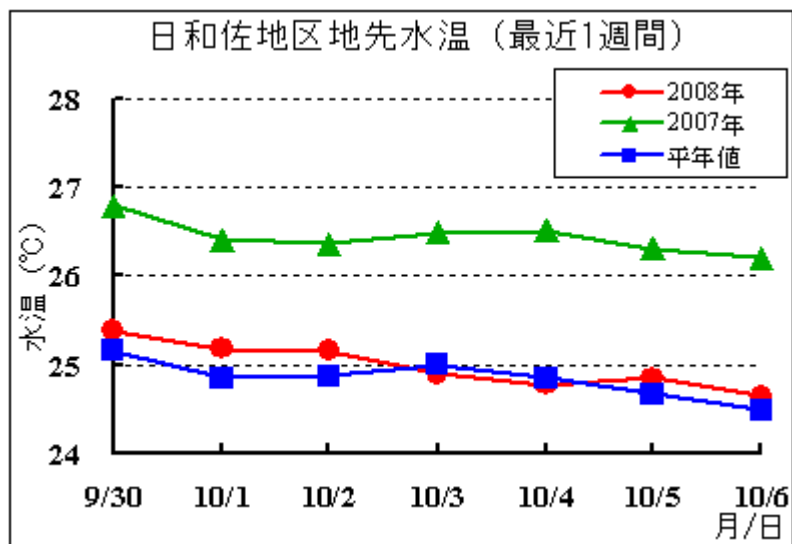
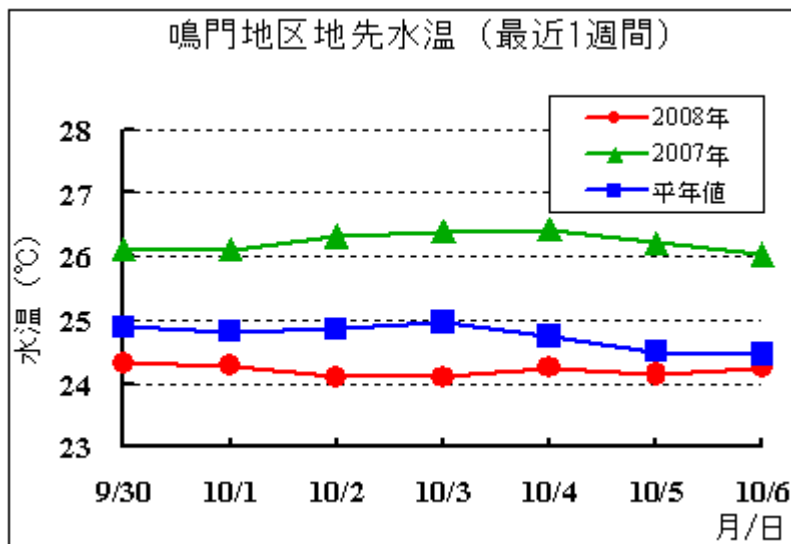
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.10.06)を示した。黒潮は室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は27℃台である。表面水温は播磨灘が24～25℃台、紀伊水道内部が23～24℃台、外域が24～25℃台である。気温低下の影響から、本県沿岸の表面海水温は低下している。紀伊水道外域では、海部沿岸と和歌山県側から黒潮系暖水が流入している。漁業調査船「とくしま」が10月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は全層とも「平年並み」の24.8～25.1℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2008/10/02)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	25.1	25.0	25.0	24.8	今年値	32.6	32.6	32.6	32.6
平年偏差	0.2	0.2	0.2	0.1	平年偏差	0.9	0.9	0.8	0.7
前年偏差	-1.0	-1.1	-1.1	-1.1	前年偏差	0.3	0.3	0.3	0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の24.1～24.3℃、日和佐地区は「平年並み」の24.6～25.4℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の25.0～25.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(1日1隻あたり8kg)、大主体にカマス類が1.2トン(同71kg)、トビウオ類が0.2トン(同8kg)、小主体にマアジが2.6トン(同58kg)、小主体にマルアジが0.7トン(同32kg)、マルソウダが3.2トン(同91kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、タチウオが2.9トン(同68kg)、中主体にヨコワが1.0トン(同18kg)、紀伊水道で、中・大主体にサワラが0.7トン(同36kg)、中主体にタチウオが0.3トン(同24kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが63.5トン(同642kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 09月29日～10月05日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	56	444	8	
		カマス類	17	1,211	71	大主体
		トビウオ類	32	240	8	
		マアジ	45	2,592	58	小主体
		マルアジ	21	679	32	小主体
		マルソウダ	35	3,176	91	
釣り	海部沿岸	タチウオ	43	2,911	68	
		ヨコワ	53	968	18	中主体
	紀伊水道	サワラ	21	746	36	中・大主体
		タチウオ	13	317	24	中主体
パッチ網		シラス	99	63,525	642	

特異事項:

海洋観測時に漁業調査船「とくしま」が行ったクラゲの目視調査の結果から、播磨灘と紀伊水道北部は、クラゲが少なかった。

週間予報:

黒潮は、室戸岬で接岸、潮岬で接岸からやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の24℃台、日和佐地先で「平年並み」の24℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄で、キハダが0.3トン(1日1隻あたり5kg)、釣りでスルメが7.0トン(同44kg)、タチウオが0.4トン(同2kg)、イサキが0.5トン(同3kg)、パッチ網でシラスが15.2トン(同267kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上